

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア（シーランチ）		
○保護者評価実施期間	2025年1月4日		～ 2025年3月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年 2月 10日		～ 2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内にある様々な支援を、子どもや家族に必要なに応じてすぐに提供できています。	事業所内面談や、親子発達支援であがってきた子どもや家族の困り感に対し、すぐにチームで対応している。 例：子どもがお風呂に入るのを嫌がる。ヘルパーがない。→ヘルパーさんが伝えるようになるまで、職員がショートステイでお風呂に入れる支援を行うなど	今後も引き続き、子どもや家族にとって必要な支援や困り感に寄り添った関わりができるように努めていく。
2	職員研修を行い、人材育成や支援力も向上できています。法人研修、年代別研修や朝研修、講師を招いて部門別研修など多岐にわたっています。市内や道外の研修にも参加させてもらって勉強しています。	学んだことを、研修報告として発表させてもらう機会や、部門別研修では、自分の実践について発表するなど、実践を振り返ることも出ています。子どもたちのことを想像しながら研修に参加し、実践に活かせるように日々勉強しています。	引き続き、実践力が身につくように研修などにたくさん参加して、勉強していきます。
3	保護者の方と事業所内相談を行ったり、グループカウンセリング、個別カウンセリングなどを行い、困り感に寄り添っています。	月に1回出来るだけ事業所内相談を行ったり、面談に来れない家庭もあるので、電話等でお話を聞いたりしています。また、毎週金曜日年長のグループカウンセリングもあるので、お母さんたちに声をかけています。心理の先生とも連携し。個別のカウンセリングにつなげることもあります。	引き続き、お母さんたちとのコミュニケーションを大切に、チームで支援をしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方や、地域の幼稚園や保育園との交流の機会が持ていない。	併行通園先の幼稚園や保育園との連携が出来ていない。	併行通園先の幼稚園、保育園とのやりとりを増やし、お互い見学に行ったりしながら関係を深め、地域の中で障がいがあるなしにかかわらず、一緒に楽しめる活動の機会を考えるなどしていきたい。
2			
3			